

令和4年度

三沢市教育委員会
会 議 録

9 月 定 例 会

三沢市教育委員会 令和4年度 9月定例会

1 日 時 令和4年9月28日(水) 14時00分 開会
15時00分 閉会

2 場 所 三沢市役所 別館4階 第1研修室

3 出席委員

教 育 長	山 内 康 之
委 員	立 花 肇
委 員	黒 沢 のぞみ
委 員	本 江 宏
委 員	松 森 まゆみ

4 出席職員

教育部長	立 崎 裕 輔
教育総務課 参事兼課長	岡 部 章 典
教育総務課 副参事兼課長補佐兼施設係長	池 田 修
学務課 課長	村 上 輝 仁
学務課 課長補佐兼学務係長	浪 岡 さゆり
学校教育課 課長	藤 田 文 明
生涯学習課 課長	山 本 京 子
生涯学習課 課長補佐兼生涯学習係長	柿 崎 竜 平
学校給食センター所長	石 井 聡
学校給食センター所長補佐兼施設係長	宮 古 順 一
教育総務課 副参事兼課長補佐(書記)	和 久 美登里
教育総務課 教育総務係長	宮 木 ひと美

5 傍聴者 2名

6 議事日程 別紙のとおり

【別紙】

三沢市教育委員会 令和4年度9月定例会 議事日程

開会

第1 会議録署名委員の指名

第2 会期の決定

第3 前回会議録の承認

第4 議事案件

議案第6号 三沢市いじめ防止対策審議会委員の選任について

第5 報告案件

報告第5号 令和4年三沢市議会第3回定例会について

報告第6号 野口貝塚・早稲田（1）貝塚調査委員会設置要綱の制定及び委員の選任
について

報告第7号 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

報告第8号 令和4年度教育長の主な活動報告（8月～9月）について

その他

閉会

○開会

■山内教育長

ただ今から、令和4年度9月定例教育委員会を開会いたします。それでは、お手元に配付してある議事日程により、会議を進めます。

○日程第1 会議録署名委員の指名

■山内教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、立花委員と黒沢委員を指名いたします。よろしく願いいたします。

○日程第2 会期の決定

■山内教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日28日の1日でよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

それでは、本日の1日といたします。

○日程第3 前回会議録の承認

■山内教育長

前回、会議録の承認について、お諮りいたします。前回の会議録は、お手元に配付しておりますが、会議録のとおり承認としてよろしいでしょうか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、承認といたします。

○日程第4 議事案件

■山内教育長

続いて議事案件に移ります。議案第6号 三沢市いじめ防止対策審議会委員の選任についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

■学校教育課長

議案第6号、三沢市いじめ防止対策審議会委員の選任について、ご説明します。三沢市いじめ防止対策審議会委員の任期は2年となっております。現在の委員の任期は、令和4年10月末までとなっているところから、11月1日以降、次の2年間を担当する新委員について選任する必要があるとございます。このため、本議案を提案させていただくものです。平成27年3月13日に定められました三沢市いじめ防止対策審議会条例第3条には、審議会は、委員6人以内をもって組織し、法律、医療、教育、心理、福祉等に関して優れた識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱するとあります。また、第4条第2項には、委員は、再任されることができるとあります。この規定に基づき、三沢市いじめ防止対策審議会の委員を選任するにあたり、配付資料にございます審議会委員を推薦するものであります。配付資料をご覧ください。法律関係者は、弁護士の村田典子氏です。十和田市にあります、弁護士法人 青空と大地に勤務されております。次に、医療関係者は、医師の鈴木吾朗氏です。三沢地区医師会会長をされております。次に、学校教育関係者は、有限会社、上十三ケア・サポート代表取締役である小山石敬氏です。元は中学校の校長をされていた方です。次に、心理関係者は、臨床心理士の中村陽子氏です。十和田市にある北里大学学生相談室講師です。次に、福祉関

係者は、楽晴会理事長の齊藤淳氏です。高齢者介護福祉事業や発達障害や知的障害のある児童を対象とするデイサービスも行っております。最後に、社会教育関係者は、三沢市連合PTA会長の小向香織氏です。以上の6名を委員として選任したいと考えております。以上です。

■山内教育長

ただ今の説明に対し、委員の皆様からご質問等がございますでしょうか。よろしいですか。それではお諮りいたします。議案第6号は原案のとおり同意することにご異議ございませんか。

(「異議なし。」と声あり)

ご異議ございませんので、議案第6号 三沢市いじめ防止対策審議会委員の選任については同意といたします。

○日程第5 報告案件

■山内教育長

続いて、報告案件に移ります。報告第5号 令和4年 三沢市議会第3回定例会についてを議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

■教育部長

私からは、今月5日に開会、16日閉会いたしました市議会第3回定例会における、教育委員会所管に係る一般質問と答弁内容についてご報告いたします。今回は3名の議員から9月8日と9日にわたり、教育問題に係る質問があり、教育長及び私から答弁いたしました。その概要をご報告いたします。なお、お手元に答弁書の写しをお配りしておりますけれども、概略を掻い摘んで口頭でご報告させていただきますの

で、お手元の資料は後ほどご確認いただければと思います。まず、奥本菜保已議員の一般質問として「大学生への経済的支援策について」と題し、コロナ禍の物価高騰対策に係る国の交付金を活用して大学生への支援金を支給する考えはないかとの質問があり、教育部長答弁として「当市では令和2年度に国の交付金を活用し大学生等応援給付金として1人当たり10万円を給付し、令和3年度には現行の奨学資金貸付額に月額3万円を上乗せするなど支援してきたところであり、現在のコロナ禍での行動制限緩和など社会状況変化に鑑み、大学生のみを対象とする支援策については慎重な検討が必要と考えているが、今後、国の物価高騰対策交付金等の支援策が制度化された際には、コロナ禍の状況や社会情勢を見極めながら、教育環境保障への優先課題を踏まえ、公平、適切な支援策を検討し協議調整して参りたい」と答弁しております。また、「学校給食費の無償化について」の質問があり、教育部長答弁として「段階的な給食費無償化の検討及び措置として、準要保護児童生徒援助費の申請がなされた保護者世帯のうち、所得超過により認定基準に満たない世帯について、基準額に任意の係数を乗じて給食費のみを援助費として支給する拡充策を講じるなど、段階的無償化の実施に努めており、今後はさらなる拡充のシミュレーション検討とともに、準要保護児童生徒援助費に係る小中学校での周知や配慮のほか、市ホームページ上や配布案内チラシの創意工夫などにより、まずは経済的困窮世帯への無償化に取り組んで参りたい」と答弁しております。そのほか、「就学援助制度の準要保護児童生徒への新入学準備金の引き上げについて」の質問に対し、教育部長答弁として「十和田市が今年度支給額を引き上げた結果、当市の支給額は上

十三地域では最低額となり、県内10市中9番目の支給額という低い水準にあることは認識していることから、現在も引き続き検討を行っており今後とも鋭意努力して参りたい」と答弁しております。さらに同議員からの「就学援助制度の準要保護児童生徒修学旅行費の給付について」の質問に対しては、教育部長答弁として「就学援助対象保護者が修学旅行前に旅行代金を準備し一旦お支払いいただいている学校は12校中2校あり、その他の学校は対象保護者が旅行代金を準備する必要はなく、修学旅行後に市から支給される就学援助対象分の旅行代金が直接学校から旅行業者に支払われており、対象保護者の立て替え払いがなされている学校については来年度から改善されるよう働きかけて参りたい」と答弁しております。次に、小比類巻孝幸議員からは、まず、奥本議員と同一内容の質問として「就学援助制度の準要保護児童生徒への新入学学用品費支給額について」の質問が出され、教育長答弁として「当委員会においても長引くコロナ禍での昨今の経済状況から保護者負担が増大しているものと憂慮しており、準要保護児童生徒保護者への新入学児童生徒学用品費等の支給額引き上げについても協議してきており、今後は要保護児童生徒援助費補助金における予算単価の上限額に可能な限り近づけるよう、県内10市の支給額を参考に検討して参りたい」と答弁しており、同議員から「今年度中に補正予算を組むなど来年4月入学準備に間に合うようなスピード感のある対応意向について市長から答弁いただきたい」との再質問に対し、市長答弁として「要保護基準額の9割程度までの引き上げ及び来年の令和5年度入学児童生徒への支給に間に合うよう補正予算を組むなどの準備を検討させたい」との答弁がなされました。ま

た、同議員から「市内小中学校における医療的ケア児への支援体制について」の質問があり、教育長答弁として「現在、市内在住の複数名の医療的ケア児のうち1名の児童が市内の小学校に在籍しており、来年度から教育委員会が健康福祉部から三沢市医療的ケア児学校訪問看護事業を引き継ぐこととなるが、市内小中学校へ就学予定のおよそ1年ほど前から関係機関と連携を密にし、教育委員会の担当が本人及び保護者の意向を確認し、障害の状況や医学的見地からの意見等を踏まえ、安全で安心な教育を受けられるかどうかを市の教育支援委員会において審議するシステムを構築している。また、就学を希望する学校においては、校内医療的ケア児実施計画を作成し、学校全体で医療的ケア児への支援体制を構築するよう指導助言を行い、本人及び保護者の不安解消につなげるとともに、今後はさまざまな医療行為を必要とし、障害を併せ持つ医療的ケア児が市内小中学校に在籍していくことが見込まれるため、医療的ケア児が安全安心で充実した学校生活を送れるよう、関係機関と連携を深めさらに体制を整えて参りたい」と答弁しております。また、この件に係る再質問として「ハード面の支援策としてスロープや休憩場所の設置、オストメイトトイレなどの環境整備についても、医療的ケア児に限らず、障害を持つ児童生徒への支援として必要になると思うが市の考えはどうか」との質問に対する教育長再答弁として「廊下や階段に手すりを設置したり、車いすを使用する場合はスロープの設置やトイレの改修、喀痰吸引や経管栄養が必要な際のプライバシー保護に適切な部屋を準備するなど、広く怪我や障害に寄り添い、安全安心な環境で学校生活を送れるよう、ハード面の整備に努めていきたいと考えており、併せて医療的ケア

が必要な本人の気持ちに寄り添うことも大事であることから、支える仲間たちが温かく受け入れ、理解し共に学び合うような心の育成にも努めて参りたい」と答弁しております。最後に、船見昌功議員からは「部活動の地域移行について」の質問があり、教育長答弁として「教育委員会として、部活動の地域移行は生徒にとって望ましい持続可能な教育環境づくり及び教職員の働き方改革の観点から、意義のある施策の一つと認識しており、部活動の指導体制見直しと地域における活動の受け皿づくりを並行して進めていく必要があると考えているが、中体連の参加条件が学校単位であることや、国・県からの推進計画及び財政支援策がまだ明らかになっていない状況から、部活動の地域移行については時間を要するものと想定している。現在、市民スポーツ課では関係競技団体に中学生受け入れについての意向等を調査しており、当委員会としては今後この調査結果や中体連の大会参加条件変更等にあわせながら、関係部局、校長会、関係競技団体と連携し、学校単位を超えた活動についても検討していく予定である。また、当委員会では市内中学校に合計7名の部活動指導員を配置し、学校単位での活動の維持と教職員の負担軽減の両立を図っており、今後さらに増員できるよう人材確保に向け、関係部局と協議しながら指導員の登録制等を含めたシステムづくりに努めて参りたい」と答弁しております。なお、この件に係る再質問として「国は令和5年度からの3箇年を運動部活動地域移行に向けた集中期間としているが、当市はその期間に全ての部活動を移行できるのか。また部活動指導員としての公務員の任用についてはどう考えているか」との質問に対する教育長再答弁として「市内全校で全競技について同時期一斉に部活動を地

域移行することは困難と考えており、教職員に頼らない体制として、部活動指導員のほか、保護者会やスポーツ少年団等、各競技団体によるものを想定している。期間は3年間の集中期間に限定せず、各学校、各部活動の実情、地域の受け入れ体制の状況に応じ、生徒目線の改革を推進し、順次移行していきたいと考えており、今後、生徒・保護者・各学校が見通しを持てるよう進捗状況の丁寧な周知にも努めていく。また、部活動指導員については、特に大切な資質として、生徒や保護者との信頼関係を築けるような指導員を職種にとらわれず確保できるよう、関係機関と協議して参りたい」と答弁しております。以上でございます。

■山内教育長

ただ今の報告に対し、委員の皆様からご質問等がございますでしょうか。

■立花委員

新入学児童生徒の学用品支給額について、準要保護新入学児童生徒の三沢は低い方だという説明を受けましたけども、そんなに金額的に違うものなのでしょうか。

■教育部長

三沢市は現在、要保護児童生徒の基準額というのは、国の、厚生労働省の方の生活保護世帯が示す金額が10割だとすると、三沢市は現在5割弱、上十三の他町村はほぼ10割、十和田市は今年度引き上げをされたということなんです、それまでは十和田市の方が三沢の方より若干低かったものの、十和田市が7割から8割程度引き上げているという状況でございます。小比類巻孝幸議員の再質問で、市長が答弁しておりますけれども、9割程度まで引き上げたいという考えと、それから来年4月の入学に間に合うように、補正

予算対応を検討させたいという市長の答弁がありました。

■山内教育長

他にございますか。よろしいでしょうか。ないようですので、報告第5号 令和4年三沢市議会第3回定例会についての報告は終わりいたします。報告第6号 野口貝塚・早稲田（1）貝塚調査委員会設置要綱の制定及び委員の選任についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

■生涯学習課長

それでは議事日程の3ページ目をお開きください。報告第6号、野口貝塚・早稲田（1）貝塚調査委員会設置要綱の制定及び委員の選任について報告いたします。令和4年9月13日付け、三生学発第126号の文書にて、お諮りいたしました野口貝塚・早稲田（1）貝塚調査委員会設置要綱の制定及び委員の選任について、委員の皆様から承認いただき、別紙のとおり制定及び選任いたしましたことをご報告いたします。また、過日9月26日に第1回調査委員会を開催し、委員の皆様にご報告いたしましたことも、併せてご報告いたします。以上です。

■山内教育長

ただ今の報告に対しまして、委員の皆様から、ご質問等がございましたらお願いいたします。ないようですので、報告第6号 野口貝塚・早稲田（1）貝塚調査委員会設置要綱の制定及び委員の選任についての報告は終わりいたします。報告第7号 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果についてを議題といたします。事務局より説明をお願いします。

■学校教育課長

報告第7号 令和4年度 全国学力・学習

状況調査の結果 について説明いたします。お手元の資料をご覧ください。この調査は、令和4年4月19日（火）に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語と算数・数学、さらに4年ぶりに理科を加えた3教科で実施されました。教科に関する調査の結果ですが、小学校中学校ともに3教科とも全国平均正答率を上回りました。次に質問紙調査の表をご覧ください。「自己肯定感」「将来の夢」「学校でのICTの活用」「主体的に学習に取り組む態度」に関する質問項目における、当てはまる、どちらかと言えば当てはまるという肯定的な回答をした児童生徒の割合になります。傾向として、「自己肯定感」「将来の夢」「人と関わって学ぶこと」について、中学生で肯定的な回答率が大きく伸びていることが挙げられます。また、「学校でのICTの活用」では、小中共に県及び全国の数値を大きく上回る結果となりました。教科に関する調査と質問紙の調査との関連を調べたところ、これらの質問に肯定的な回答をした児童生徒は教科の正答率も高い傾向にあることが分かりました。今後とも、子どもたちが自信を持って夢や目標に向かって努力できるような環境づくりと、ノートに書いたり、互いの顔を見て伝え合ったりする、従来の指導と、タブレット端末を用いた指導をバランス良く組み合わせた授業づくりを支援して参ります。以上、全国学力・学習状況調査の結果についてでした。

■山内教育長

ただ今の報告に対しまして、委員の皆様から、ご質問等がございますか。ないようですので、報告第7号 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果についての報告は終わりいたします。報告第8号 令和4年度教育長の主な活動報告（8月～9月）を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

■教育総務課長

報告第8号、令和4年度教育長の主な活動報告、8月から9月について、ご報告いたします。令和4年8月の主な活動につきましては、8日、月曜日は、市内小中学校にて行われた第21回花壇コンクールの審査に出席しております。17日、水曜日は、国際交流教育センターにて行われた令和4年度三沢市戦没者追悼式に出席しております。24日、水曜日、から30日、火曜日まで、「輝く笑顔推進キャンペーン」が行われ、市内各小中学校で声掛け活動を行っております。今回は第一中学校、三川目小学校、三沢小学校、木崎野小学校、古間木小学校でそれぞれ声掛け活動を行いました。25日、木曜日ですが、毎年行われている校長会からの要望書の手交式に出席しております。同日、国際交流教育センターにて行われた東部地区中学校英語スピーチコンテストに出席しております。続いて9月ですが、3日、土曜日、国際交流教育センターにて行われた青森県民文化祭県洋舞合同公演に出席しております。4日、日曜日は、公会堂にて行われた県民文化祭オープニングフェスティバルに出席しております。5日、月曜日から16日、金曜日までの日程で、三沢市議会第3回定例会が開催され、開会、一般質問に対する答弁書検討会、一般質問、令和3年度決算審査及び補正予算特別委員会、閉会にそれぞれ出席し対応を行っております。20日、火曜日は、市連合PTAから、児童生徒が安全に通学できるよう改善を求める安全確保プロジェクト要望書の手交式を行っております。26日、月曜日は、野口・早稲田

(1) 貝塚調査委員委嘱状交付及び委員の市長表敬に出席しております。29日、木曜日は、三沢空港にて第22回三沢・沖

縄児童交歓事業の出発式に出席する予定です。同日、七戸中央公民館にて令和4年度上十三教育委員会連絡協議会研修会及び令和4年度上十三地区教育懇談会に出席する予定であります。以上で説明を終わります。

■山内教育長

それでは、私の方から一部補足させていただきます。8月25日、東部地区の英語スピーチコンテストに参加させていただきました。上十三の東部地区、合計37名がこの大会にエントリーしておりまして、暗唱の部で堀口中学校の棟方美穂さん、創作の部で、堀口中学校の田中ももさん、それぞれ一位、優勝をしております。この結果を受けて、9月2日の菅北地方中学校英語弁論大会に進んでおります。その結果は、棟方さんは1位、田中さんは2位、そして他市町村になりますけれど、木下中学校の石田玲奈さんが3位に入っております。それぞれ、それぞれ上北地方からは1位になった方が県大会に進むということになっておりまして、棟方さんが明日、県大会が行われます。その暗唱の方に出場することになっております。拝聴させていただきましたけれども、我々の時代の英語と全然違っておりまして、子供たちの質の高さと言いますか、随所に感じられる大会でありました。私もそれなりに採点してみたものですが、素人が聞いてもですね、素晴らしいなというふうに、発表も創作も大変素晴らしかったなというふうに思っております。特に創作の中では、部活で得たこと、防災学習のこと、フードロスのこと、ジブリ作品、アニメから日本のジェンダーギャップのことを考えるなどの主題で、英語で創作英語で話しておりました。非常に内容としても濃いものであった

というふうに思っております。その感性だとか、子供たちの能力に改めて感銘を受けたものであります。二つ目に、9月20日、14番の市連Pの交通安全確保プロジェクトのことであります。昨年度は下校途中の5年生がトラックにはねられて、死傷した事故を受けて、通学路の危険箇所、全国で7万6千箇所を指摘して、随時対応を講じたということではありますが、三沢市ではそれとは別に独自に、このような安全確保プロジェクトを毎年行っております。今年度は新規16件、継続22件について、要望を受けております。今後対策会議を開いて、その実施に移っていくことにしております。なお、当市の重点対策地点である、堀口中学校前の南北道路と、スーパードラッグアサヒから市の国際交流教育センターに行くような道路と、直交するわけですが、そこの交差点で事故が多いということで、去年も出たわけでありまして、今年もそういうことが出ておりました。何とか対処出来ないものかなと話題に上っております。明日、市長立会いの下で事故防止を呼び掛ける、市連Pの方々と事故防止を呼び掛ける予定になっております。少しずつ、こういった取り組みが実を結びつつあるというふうに思っておりますし、さらにまた、事故ってというのは100点満点ってことはない訳ですので、それぞれこれらを、各学校の声を聴きながら、我々も対処していきたいと考えているところであります。以上2点を掻い摘んで報告させていただきました。ただ今の報告に対し、委員の皆様からご質問等がございますでしょうか。

■立花委員

9月29日、三沢沖縄児童交歓事業出発式とありますけれども、実際子供たちが何

人くらい参加するのか確認したいのですけれども。これも何年かぶりになるのでしょうか。

■山内教育長

これは、私は挨拶をお願いされた立場でございます。何人というところまでは把握しておりませんでした。

■教育総務課長

3年ぶりになります。今までは毎年のように行っていたんですが、やはりコロナの影響で、3年ぶりに開催された。今回で22回、44年前からスタートしているということです。青年会議所の事業です。

■山内教育長

では、ただ今の報告に対し、委員の皆様からご質問等がございますか。ないようですので、報告代8号 令和4年度 教育長の主な活動報告（8月～9月）の報告はお終わりといたします。

○日程第6 その他

■山内教育長

続いて、その他に移ります。委員の皆様にお知らせする事項をお手元に配布しておりますので、教育総務課からお願いいたします。

■教育総務課長

ございません。

■学務課長

ございません。

■学校教育課長

学校教育課からその他の報告事項を説明します。令和4年度「ゆめチャレ教室！」です。この事業は、地域の教育力を活用し、児童に「ゆめ」実現のための目的意識をもたせ、日々の学習の意欲につなげることを目的としております。日時は10月19日、三沢市公会堂の大ホールで、市内全小学校6年生全員を対象に実施する予定です。今年度も昨年度に引き続き、コロナウイルス感染症対策のため、大ホールのみを使用いたします。パネリストは昨年度に引き続き、元サッカー選手、調理師の方、そして今年度新たに、地元の漁師の方と小学校教員の方、計4人の方をお願いしております。それぞれの職業について映像を用いて紹介後、パネルディスカッション形式で、それぞれの職業観について話していただきます。休憩の後、後半は「生き生き健康講話」として「子どもにとってのねむること」と題して公立七戸病院 小野正人院長から講義をしていただきます。こちらは「眠育・食育のススメ」推進事業の一環として、健康で依存に負けない生活習慣づくりの一助として行うものです。多くの小学生が集まりますので、コロナ対策をしっかりと行い、実施したいと考えております。委員の皆様方にもご案内を配布させていただきますので、もしよろしければ、ご出席していただければ幸いです。以上です。

■生涯学習課長

続きまして、次のページをお開きください。裏面になります。ナンバー2、生涯学習課です。
(1)第6回 三沢市文化財講座 小川原湖民俗博物館旧蔵資料展を4年ぶりに開催いたします。場所が記載されておりませんが、六川目団体活動センターです。日時は10月8日、土曜日と9日、日曜日の2日間、9時30分から

15時30分までとしまして、両日とも14時から展示解説をいたします。参加料無料、事前申し込みは不要です。次に(2)北海道・東北ブロック民俗芸能大会が開催されます。地方に伝承されている民俗芸能を公開することにより、価値の周知や保存・伝承及び公開による地域振興を目的としています。日時は10月16日、日曜日、10時開演、公会堂大ホールで行われます。入場は無料、事前申し込みは不要です。出演は北海道と各県から1団体ずつが出演し、開催地の青森県から三沢市の岡三沢神楽保存会、むつ市の栗山太神楽(くりやまだいかぐら)保存会の2団体が出演いたします。続きまして次のページをお開きください。最後に、(3)三沢市功労者・文化功労賞等表彰式です。10月27日、木曜日、10時30分から、今年度は公会堂大ホールで行われます。以上でございます。

■学校給食センター所長

ございません。

■山内教育長

ただ今のその他の報告事項に対し、委員の皆様からご質問等がございますか。

■黒沢委員

夢チャレについてですけれども、今回漁師の方や小学校の先生を起用するといった経緯をお聞かせいただきたいです。

■学校教育課長

まずは漁業の方ですが、地元を代表する方として、三沢市の大事な漁業の方と言うことで漁協に依頼したところ、快く引き受けてくださったという経緯があります。小学校の教員の方は、各小学校、学校訪問しまして、廊下に将来の夢が掲示してあるのですが、小学生、特に女子の児童の方は将来の夢として、

小学校の教員を挙げている子が多いなという実感を持ちまして、そこでぜひ、小学校の先生の仕事ぶりを紹介する機会にもなるなということで、人選をいたしました。以上です。

■山内教育長

他にございませんか。ないようですので、その他については終わりいたします。最後に委員の皆様から委員会事業等について確認したいことやご意見、ご感想などをお願いします。

■松森委員

本日も色々な説明をしていただいております。ありがとうございました。まずは中体連、新人戦が予定通り行うことができ、天気にも恵まれて、とても良かったと思います。確か一年前の9月は、教育活動が制限されていた時期であるなあと思っていましたが、今年は活気が戻っていたようで大変嬉しかったです。給食の中体連頑張れメニューも子供たちの大きな力になったと思います。何でも諦めずに頑張ってもらいたいという願いが込められていたようで、給食センターの方の温かい心遣いが伝わったように思います。説明のあった、全国学力学習状況調査結果について拝見いたしましたけれども、教育委員会の皆様が丁寧にかかわっていただいた結果だと思いました。すべての項目において全国を上回っているのが本当に素晴らしいなと思って拝見しておりました。ありがとうございます。県民文化祭オープニングセレモニーに参加させていただきました。子供から大人まで多才な方が三沢市にはたくさんいるなあ、大変感動いたしました。楽しませていただいております。以上になります。

■本江委員

今日はありがとうございました。中体連、合同チームが多いながら、子供たち、すごくよく

頑張ったなど。それに合同でチームを作っても一生懸命やっている姿が非常に良かったなという気がします。それなりに成績も良くて、頑張ったなあ結果を得れたなと思ってました。県民駅伝、中学生が参加、中学生頑張ったなあ。努力の成果が出てたなあと感じがしておりました。先週、土日行われた祭りに関して、子供たちが多く出てましたが、非常に落ち着いた行動をしてたなあ、見て、これは気をつけなきゃならないなという感じはほとんどなかったです。あちこちにゴミを捨てるとか、次の日、朝見たらゴミがない。きれいに片付いてるといいう、非常にそういう面でも、子供たちは落ち着いた生活をしているんだないうことを感じました。それが先ほど出ました、学力学習状況調査の結果に出ているのではないかなと思ってます。まずは、色んな教育委員会で計画している、夢チャレとか英検の試合とか、成果がより大きく出てきているなということと、指導課の先生方が学校を回られて、授業開拓に非常に積極的に取り組んでいるせいじゃないかなと思ってます。こういう結果に続けていくこと、子供たちの夢に向かってチャレンジするという気持ちを持ち続けることが非常に大事ななと思っております。大変な時期と言いながら、子供は振り回されていないなというのは実感としてあります。以上です。

■黒沢委員

質問紙調査で100を超える数値には大変うれしく思いました。小学生の6年生の方が中学校の方が低い数字、小学校の6年生が低い数値にはちょっと危惧してるなと思うところです。学習の意欲というものは幼児期の、幼児教育の姿がこういったところで反映されるわけですが、幼児教育を、もしかしたら勘違いしてる部分があるのかなと、学校教育の早取りにはなく遊びとして経験を積み重ねにより、自己をいかに発揮できるか、その積み重ねをど

れだけ経験できるのかと言った部分が幼児教育であって、今特に注目されているというか、進んでいるのが、架け橋期のプログラム、大いに影響を及ぼすところがあるんですけども、小学校1年生、2年生、否認知能力が培われた状態に、学ぶことを意識して学び始められるのが、およそ3、4年生ぐらいの年齢と言われているので、やはりその架け橋期のプログラムが大いに影響を及ぼすことだなあと思っております。特にこの子供たちが、その時期にコロナ期を迎えたことによって、自己肯定感というコミュニケーションの不足といったものが現れて、悪い影響を受けているのでなければいいなと思うところですし、特にその3年間という状況の中で、大学にせよ、社会に出るにせよ、そろそろ人との繋がり希薄化が影響を受けた状態で上がってくる。ですので3年前の教育の内容では、もしかしたら対応がしきれない状況が出てくるのではと、大学の先生、研究されている方々が言い始めているところでありますので、もちろん100を超えていることはありますがたいことではあるんですけども、特にその架け橋期のプログラム、実験的な取り組みが今、今年から始まって、3年間の期間を得て、ただし、文科省の方では手引も出されておりますし、そして、その手引のその後までユーチューブによる説明書も出ておりますので、特に小学校1年生のスタートカリキュラム、幼児教育ではアプローチカリキュラム、そしてその後のスタートカリキュラムですけども、アプローチはもう、無くなるのではないかと、やはりスタートカリキュラムが個々の発達に合わせたプログラムで、時間も組み合わせてもいいし、学科も組み合わせ研究してもいいしということになっていると思いますので、もし聞かせていただける機会がありましたら、三沢市としては今フェーズがどのあたりに来ていて、そしてどういう方向性で、今後計画されているのか、ということをお聞きする機会があるといいなと思います、そのお

願いで、以上といたします。

■立花委員

私からは2点、まずスクールバスについてですけれども、静岡の方で保育園ですか、大変痛ましい事故があり、その後七戸の居眠りして置かれてしまったと、また、沖縄ではまたありましたよね。三沢でもスクールバスあるんだと思って、その辺、今までに事故等の報告がもしあれば聞きたいなと思います。

■学務課長

今の質問にお答えします。三沢市の通学用スクールバスは、令和2年度までは十和田観光電鉄の業者に委託しておりました。その時の報告において、今、起きてるような、置き去りにされたとか、報告は1件もございません。令和3年度からはレンタルバスと運転手委託による運行しておりますけれども、それに関してもそのような報告はございませんでした。ただこのような事件が起きておりますし、また教育長より十分なその辺の管理運営の会社の委託している運転手業務の方も、再度、もう一度見直して、絶対そのような事故の無いようにと指示も受けておりますので、現在、運行会社の方には注意喚起、それからマニュアルの作成の指示の文書を作って発送する予定になっております。

■立花委員

中学生になれば携帯、もしくはスマホ等を持っていて、連絡はとれる状況にあらうかと思えますし、ただ、小学生1、2年生はもしかすると、非常に心配することもありますので、その辺は十分な、業者に対しても管理体制を取っていただくよう、よろしくお願ひしたいと思います。あとは、今年も残り3か月、成人式、多分成人式という形ではないかと思うんですけども、すでにお盆にいくつかの町村で20歳のつどいという形で開かれていたようです。三沢

市でもそろそろ準備に入っているかと思うんですけども、その辺の様子をちょっと伺いたいです。お願いします。

■生涯学習課長

三沢市では昨年中、成人式検討委員会というものを開きまして、その中で三沢市で行われるお祝いとしましては、18歳ではなく20歳で行う、全ての法律の的年齢制限がなくなる、20歳で行うといういうことを、予め昨年中に決めておりました。今年度になりましてからは、名称も決めておまして、皆様のところでは成人が18歳になるということ、わざわざ20歳の集いと、20歳のお祝い会ということをしてありますが、三沢市ではそのまま、三沢市成人式で進めさせていただきたいと思っております。以上です。

■立花委員

コロナ禍と言っても、多少の増減に関係なく開催するということですよ。

■生涯学習課長

例年、成人、今でいう20歳の対象の方は400人近くいらっしゃいます。大体コロナ前でも7割くらい、300人くらいですね。今回は前回、前々回と比べても、出席率もあがってきておりますので、今回は健康チェックシート等の提出を求めずに、事前の申し込みをいただきまして、残念ながら、来賓の方たちというのはお呼びできないですけども、成人、20歳の方たちのみ、保護者も入れないという、感染対策をもって行っていきたいと思っております。

■立花委員

20歳を迎える子供たちにとって、一生に一度の大変記念になる行事かと思っておりますので、よろしくお願いします。以上です。

○閉会

■山内教育長

ありがとうございました。以上で、日程は全て終了いたしました。これを持ちまして9月定例会教育委員会を閉会いたします。10月の定例会の日程でございますが、10月28日、金曜日、午後2時に開催したいと考えておりますが、「異議なし。」と声あり)ご異議ございませんので、10月定例会は、10月28日、金曜日、午後2時からいたしますので、よろしくお願いいたします。

閉会 15時00分

■会議録署名者

教育委員 立花 肇

教育委員 黒沢 のぞみ

書記 和久 美登里